

県内高等教育機関

共同研究等に向けた 関わり方ガイドブック

こんなことはありませんか？

- 新しい商品・サービスに大学等の研究資源を使ってみたい
- 商品の品質向上に大学等の研究資源を使ってみたい
- 大学発研究シーズに基づいた新製品の開発を試みたい
- 技術力・開発力強化に大学等が有する先端技術を活用してみたい
- 大学等の人材育成力支援を受けて社員教育をしたい
- イベントや商品に学生の意見を取り入れたい



山口県の大学等と 一緒に解決しましょう！



- 受託研究
- 共同研究
- 学術指導
- 技術相談
- 出前講座
- 学生との共同企画

まずはお気軽に ご相談ください。



専門のアドバイザーが
企業と大学等のマッチングの
お手伝いをいたします。

大学リーグやまぐち
地域貢献センター

山口県立大学 地域共生センター内

TEL
083-929-6611

E-mail
chiikikc@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp

CONTENTS

■ 山口大学	01
■ 山口県立大学	03
■ 周南公立大学	05
■ 山陽小野田市立山口東京理科大学	09
■ 下関市立大学	11
■ 水産大学校	12
■ 山口学芸大学	13
山口芸術短期大学	
■ 宇部フロンティア大学	15
宇部フロンティア大学短期大学部	
■ 至誠館大学	17
■ 宇部工業高等専門学校	19
■ 徳山工業高等専門学校	21
■ 大島商船高等専門学校	22
■ 放送大学	25
■ 各大学のシーズ集アドレス	27



企業

山口
大学

新製品の開発、現状の課題解決
一緒に取り組んでみませんか？

学部構成



山口大学は、9学部、1学環、7研究科を擁し、学生1万人以上が在籍し、研究者1000人以上が在職する基幹総合大学です。

1815年に創設された山口講堂を起源とし、200年あまりの歴史を有しています。「発見し・はぐくみ・かたちにする、知の広場」を理念として、地域の知の拠点として、地方創生に貢献しています。

さらに、2026年4月には、情報学部の新設と工学部の改組を行い、時代が求める先端IT人材や工学人材の育成を推進します。

2026.4.1現在



関わり方の紹介

- 医学、工学、理学、農学、獣医学、経済学、人文学、教育学…各種分野の専門家・研究者を産学公連携・研究推進センターのURAがご紹介いたします!
- 特許や意匠、商標などの知的財産に関するお問合せ・ご質問にもお答えいたします!
- 山口大学は全国に先駆けて、知的財産教育を全学で必修化!
社会人の皆様にも知的財産教育をご提供いたします(基礎から応用まで)
- 平成27年度10月より特許無料開放中!

受託研究

本学の研究者が、委託者の負担する経費を使用して職務として研究を行い、その成果を委託者に報告します。

技術相談

自社内だけでは解決が難しい技術的課題など、お気軽にご相談下さい。相談事項の秘密保持を必要とする場合は、秘密保持契約を締結します。

機器利用

企業等が利用できる機器を各種整備しています。技術支援員による操作・サンプル作製指導も行っていますので、機器を利用されたことが無い方も、気軽にご相談ください。

共同研究

研究課題に最適な大学研究者とのマッチングが必要なときは、URAがお手伝いします。

学術指導

新規研究開発を伴わない教育・研究及び技術上の専門知識に基づく指導助言を通じて、依頼機関の業務又は活動を支援します。



透過型電子顕微鏡



核磁気共鳴装置

【問い合わせ先】

大学研究推進機構
産学公連携・研究推進センター

TEL:0836-85-9961

E-mail: yuic@yamaguchi-u.ac.jp

URL: <https://kenkyu.yamaguchi-u.ac.jp/sangaku/>

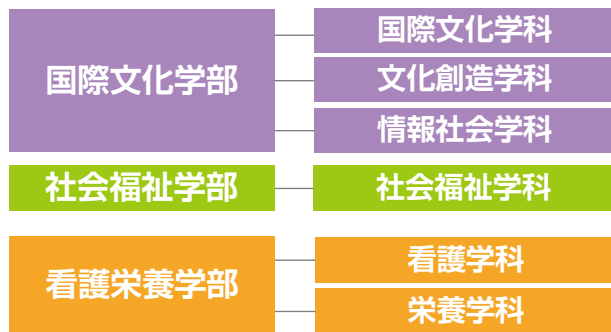




山口県立大学は、山口県唯一の「県立大学」として、「人間性の尊重」、「生活者の視点の重視」、「地域社会との共生」、「国際化への対応」の4つを教育理念として掲げ、地域の要望に応えることができる「地域貢献型大学」として、県民の健康や文化の分野で専門的教育と研究を行い、優れた人材や研究成果を還元し、高い評価が得られることを目指しています。



学部構成



大学院／国際文化学研究科 国際文化学専攻

大学院／健康福祉学研究科 健康福祉学専攻

別科助産専攻

関わり方の紹介

受託研究・共同研究

本学が有する知的・人的資源等を活かし、企業や自治体等の委託に応じて地域産業の振興および地域の課題解決に取り組みます。

- ① 地域共生センターへ相談
- ② 提案書又は依頼書の提出
- ③ 研究内容及び予算等の協議
(研究経費に加えて間接経費をご負担いただきます。間接経費の額は研究経費の20%です)
- ④ 契約締結
- ⑤ 経費の振り込み
- ⑥ 研究開発(契約書に明記した期間)
- ⑦ 研究完了→成果報告

学術指導

学術指導は、本学教員の専門性を活かして、企業等からの各種相談に対し、有償で技術指導・監修・コンサルティング等に応じるものです。

企業等における調査研究や企画・開発等に際して、専門家の立場からのアドバイスを得たい場合等にご利用いただくことができます。

相談内容や担当教員、相談費用等ご不明な点があれば、まずはお問い合わせください。

※事前のお問合せは無料に対応します。

【お問合せ・ご相談】

本学HP▶ <https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/ca/qu/sangakukourenkei/>
山口県立大学地域共生センター TEL:083-929-6611

事例1

大内塗産業における新商品の開発に向けた 取組み及び研究

山口市の中心的な工芸品である大内塗の振興と後継者育成を目的として、2018年度より大内塗漆器組合・山口県立大学・山口市による産学官連携事業を行っています。

本研究では、NCルーターを活用した加工難易度の高い木製品「大内塗のワイングラス」の制作や、「ノベルティグッズ」の追加品として、大内人形シールの試作も行いました。また3Dプリンターを活用して、簡易的に陶器の原型を制作し、漆の焼付加工を施して「山口陶漆器」を制作しました。



地域デザイン研究所
国際文化学部文化創造学科/
国際文化研究科

山口 光



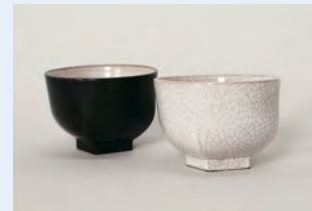
大内塗のワイングラス
NCルーターにより加工された
木製品



ノベルティグッズ
大内人形のシール



「山口陶漆器」にデジタル
技術を活用
原型に3Dプリンターを活用



「山口陶漆器」による試作品
萩焼の上に漆を塗布し焼付加
工をした

事例2

みね健幸百寿プロジェクト —健康寿命阻害要因の分析とその対策—

美祢市は人口減少を伴った高齢化が進行しており、市民の健康志向の醸成が課題となっています。本プロジェクトでは、住民一人一人の「健幸度」を見える化して、ライフスタイルの改善につなげるためのツールを開発しました。健診データと新たに開発したライフスタイル質問票によるアンケート調査から、市民の健康状態を把握し、病気にかかる危険度と「食行動・身体活動・こころ・睡眠・社会交流」の5要素からなる健幸度を可視化します。健幸度可視化ツールは健診データがなくても使用できるため利便性が高く、企業・団体等を対象に利用の範囲を広げることができます。

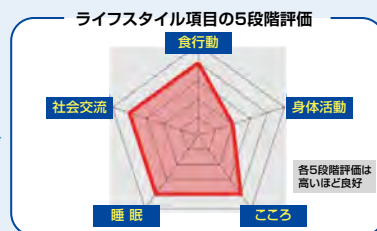


看護栄養学部看護学科/
健康福祉学研究科

曾根 文夫



健診時にタブレットを使ってライフスタイル調査を実施



健幸5大要素の高低やバランス度を個別に通知



健診データと組み合わせて疾病発症危険度を通知できるサービスを追加可能



周南公立大学

SHUNAN UNIVERSITY

学部構成等

2024年4月「経済経営学部」「人間健康科学部」「情報科学部」の3学部を設置。

それぞれの専門に特化した5つの学科と、英語教育や情報教育をはじめとした総合科目の配置など、特色あるカリキュラムを展開します。



経済経営学部	経済経営学科 Department of Economics and Business Management
人間健康科学部	スポーツ健康科学科 Department of Health and Sport Sciences
	看護学科 Department of Nursing
	福祉学科 Department of Social Welfare
情報科学部	情報科学科 Department of Information Science

経済学・経営学の知見とグローバルな視点から地域社会の核を目指す。

スポーツで人々の交流を促進し健康な地域づくりに貢献する。

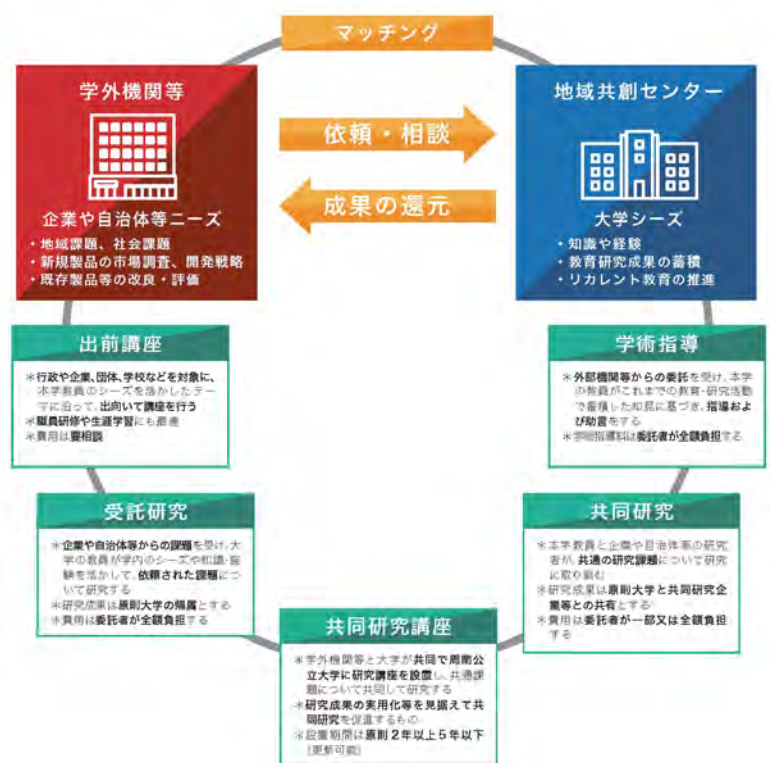
様々な健康状態にある人のその人らしくより豊かに生きる力を引きだし未来の健康を創造する

福祉課題を解決し地域の安全を生み出す人材を育成する。

地域産業を支える情報科学のエキスパートに。

関わり方の紹介

周南公立大学は、「地域の持続的発展と価値創造のための成長エンジンとなる」ことをミッションとして掲げ、地域に根差し、地域の問題を地域とともに解決し、地域に愛され、地域に信頼され、地域に輝く大学となることをビジョンとして宣言しました。 ミッションとビジョンの実現に向け、地域課題の解決に取り組む地域貢献研究を推進し、経済・経営・福祉・情報などの分野の研究を推進してまいります。



研究シーズの紹介

本学教員の教育研究シーズと、その知見を生かして解決に貢献することのできる地域課題の例をまとめました。▼

<https://www.shunan-u.ac.jp/seeds/>

事例 1

モーションキャプチャシステムを用いた製品の効果検証

私はモーションキャプチャシステムを使って、ヒトの運動を対象とした動作解析を行っています。

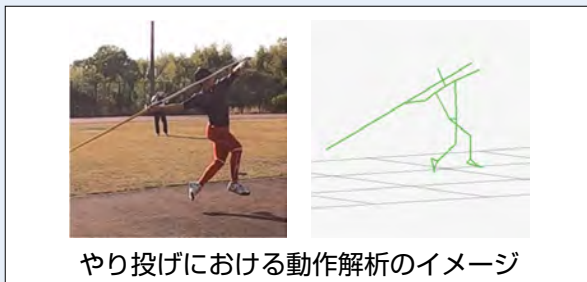
最近取り組んでいるインソールの研究では、スクワット動作において足のアーチ(土踏まず)がどのように動くのかを解析しています。異なるインソールを装着した場合を比較することで、より効果的なトレーニングを行うために求められるインソールの条件が解明されつつあります。

このように、動作解析は製品がヒトの運動に与える効果を見える化し、製品の開発・改良に役立てることができます。

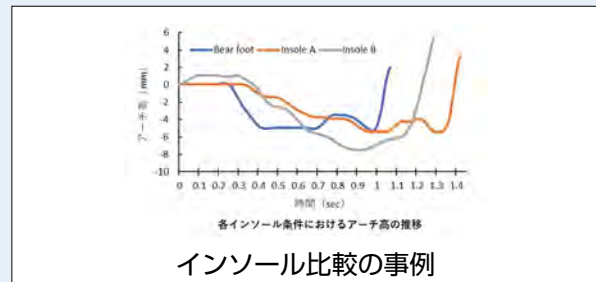


経済学部
ビジネス戦略学科
准教授

西山 健太



やり投げにおける動作解析のイメージ



インソール比較の事例

事例 2

多様な人との共創の場におけるチームの創造性促進研究

山口県周南地域において学生と地元住民の方々が共に課題解決に取り組む参加型デザインの場をつくり、多様なメンバーで組成されるチームの創造性の促進を目指す研究および取り組みを行っています。これまでに周南市(周南リビングラボ)、周防大島町(海ゴミゼロワークショップ)、光市(海ゴミ物語ワークショップ)など様々なテーマや場所で行ってきました。ワークショップでは主にデザイン思考を活用しています。

研究としては、アイデアの受容に着目し、参加者間の多角的なフィードバックを促す手法を開発し、その効果検証を実施しています。



経済学部
ビジネス戦略学科
講師

赤木 真由





事例 3

健康長寿社会を実現するための健康運動とその評価

健康長寿社会の実現に向けて、ライフサイクルにおける各期の健康課題に応じた運動プログラム開発を行っています。主に「育児期プラン：育児疲労改善」「学童期プラン：子どもロコモ予防」「退職前プラン：生きがい創出」のプログラム展開により、生涯にわたる包括的健康支援システムの構築を目指しています。同時に、運動の実践指導及びスポーツ時の救護を担える健康スポーツナースの養成を行っています。



人間健康科学部
看護学科
教授

鶴田 来美

事例 4

ボランティア活動におけるインセンティブに関する研究

従来、ボランティア活動は「無償・非営利」が基本とされてきました。しかし最近では、ポイント制度や謝金などのインセンティブが取り入れられることが増えています。私は、こうしたインセンティブがボランティア個人にとってどのような影響をもたらすのかを研究しています。また、アルバイトとの違いを明らかにし、どのようなインセンティブが活動の継続や効果に結びつくのかを分類・分析することで、ボランティア活動の促進につながる新しいモデルの構築を目指しています。



人間健康科学部
福祉学科
教授

守本 友美

事例5 運動計測データから 安全で疲れにくい運動を考える

「歩く」「走る」といった生き物の基本的な運動が、どのような仕組みで制御されているのかを研究しています。特にヒトの歩行時における関節間の協調的な動きに注目し、モーションキャプチャシステムなどで取得したデータを解析することで、関節の連携がどのように安定した歩行の実現に寄与しているのかを、情報科学の視点から明らかにしようとしています。歩行中の脚の筋群の活動とその協調構造の解析も進めており、スポーツトレーニングやリハビリテーションの方法開発に役立てることを目指しています。



情報科学部
情報科学科
講師

日置 智子

各関節にマーカを貼付し、モーションキャプチャカメラによってマーカの位置をトラッキング

事例6 外国人住民との多文化共生を考える 一街づくり・意識づくりをめざして

私の専門は、ことばと、ことばに関わる人や社会についての学問である「日本語教育」です。現在は、主に日本社会に暮らす留学生や在住外国人のキャリアの転機について研究を行っています。いわゆる「外国人」と呼ばれる人々が、なぜ日本でのキャリアを決意したのか、その道のりにおいてどのような経験や葛藤を経てきたのかを明らかにすることで、多様な人や価値観の混ざり合う多文化共生社会の構築に貢献したいと思います。



総合教育部
准教授

山本 晋也



建学の精神

「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学は、地方都市における落ち着いた教育環境のもと、学校法人東京理科大学との姉妹校関係を維持強化しつつ、薬工系の基礎的知識と専門的な学術を教育・研究するとともに、地域に根差し、地域社会の発展に寄与する「地方のキーパーソン」の育成に貢献することを目的とします。

学部構成

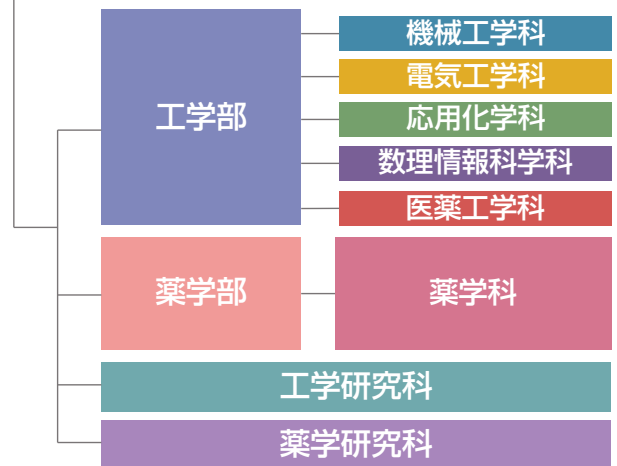
本学は2016年に公立大学として新たなスタートを切り、山口県内で初となる薬学部を設置しました。

2023年には工学部数理情報科学科を、2024年に工学部医薬工学科を開設し、教育・研究のより一層の発展に努めております。

本学は「公立薬工系大学」として地域社会の発展に貢献いたします。



山陽小野田市立山口東京理科大学



関わり方の紹介

本学では薬学や工学に関するさまざまなご相談をお受けしております。

ホームページ▶ <https://www.socu.ac.jp/research/cooperation/index.html>

技術相談

本学では技術相談窓口を設置し、産学連携コーディネーターや研究者が皆さまの技術的なお悩みやご相談に応じます。

技術開発の支援、専門知識の提供など、研究シーズを活用した技術的なご相談がございましたら、お気軽にご連絡ください。

受託研究・共同研究など

数多くの企業等と受託研究・共同研究に取り組んでいます。ホームページにて申込方法や手続きについてご案内しておりますので、研究者との連携をご希望の方は、ぜひご覧のうえ、お気軽にご連絡ください。

産学連携コーディネーター 西野 伸幸



「技術課題を解決したい!」と思ったら、まずは産学連携コーディネーターにお気軽にご相談ください。

TEL(直通):0836-88-3541

【ご連絡先】研究推進課

〒756-0884 山口県山陽小野田市
大学通一丁目1番1号

TEL:0836-88-4533

FAX:0836-88-4579

E-mail:kenkyu@admin.socu.ac.jp

事例 1**口腔ケアの常識をくつがえす
フッ化物の徐放性を付与したパッチ製剤の開発**

フッ化物の徐放性(徐々に放出する)による口腔内での滞留性向上をめざし、フッ化物含有S/Oサスペンションを染み込ませた口腔粘膜付着性パッチ製剤の開発を行っています。本製剤は、フッ化物を界面活性剤でコーティングしてフッ化物イオンの徐放性を向上させる手法によるものです。今後、フッ化物イオンの放出制御により口腔内に一定時間の徐放のある製剤化が実現すれば、低濃度フッ化物の徐放効果を有する口腔ケア製剤として、市場の拡大に大きく役立つものだと考えています。

薬学部薬学科
教授**小野 浩重****事例 2****ロボットが農作業を変える！
繊細な農作業を行うロボットの開発**

トマトの収穫作業をするロボットの開発を行っています。同じ品種でも工業製品のようにまったく同じサイズや同じ形状ではありません。トマトを強くつかむと握りつぶしたり、傷つけたりする可能性もあります。そこに、農作物だからこその難しさがあります。また、適切な収穫期にあるものを素早く見つけて収穫しなければいけません。人が当たり前のように行っていることを、ロボットで当たり前に行えることを目標に取り組んでいます。



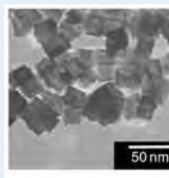
トマトロボットのハンドメイド試作品において、トマトを傷つけないようにシリコン製の手先を製作し動作チェックをしている様子。



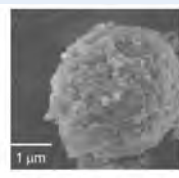
トマトロボット競技会2024に参加したときの一枚。自律制御でトマトを収穫するところです。

工学部機械工学科
准教授**池田 毅****事例 3****触媒の力で環境問題に貢献！
環境にやさしい無機個体系触媒材料の開発**

当研究室では、エネルギー・環境問題の解決に貢献できる触媒材料化学の研究をしています。たとえば、温室効果ガスのひとつである二酸化炭素を回収・利用する技術の開発。マイクロからナノレベルの、無数の穴があいた多孔質吸着剤をできるだけ安価な材料でつくる研究を進めています。さらに、その吸着剤に「光触媒」という物質を組み込み、太陽光エネルギーを用いて二酸化炭素を燃料へリサイクルすることのできる複合型触媒材料の開発に取り組んでいます。






二酸化炭素を水素や水を使って還元するための光触媒粒子の電子顕微鏡写真です。



吸着剤と光触媒粒子を複合した二酸化炭素還元用光触媒の電子顕微鏡写真です。

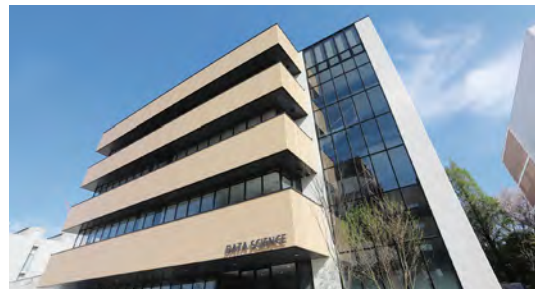
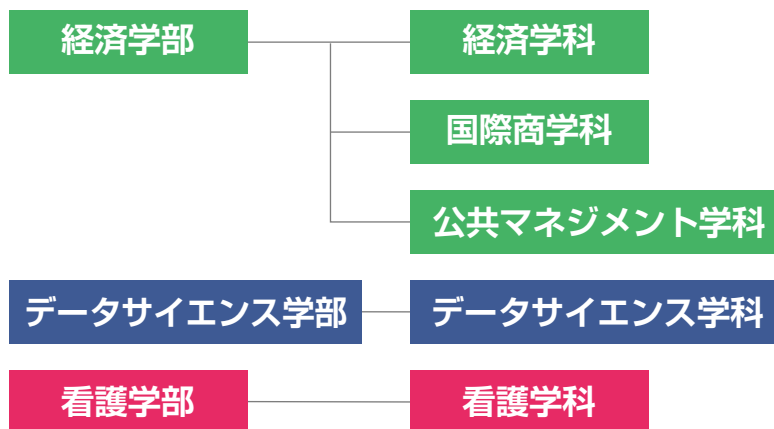
工学部応用化学科
教授**池上 啓太****研究シーズの紹介**

下関市立大学は、2025年から2040年の間に行う目標を設定するため、**SCU Vision 2040**を作成しました。当Visionでは、次の3つの柱を掲げ、この目標達成を目指し、世界の名門大学となるべく基盤を作ってまいります。

- 
未来社会の創造 地域が誇れる高等教育機関として、社会が直面するリスクに対応できる人材、将来の変化を先導する人材を育成することで、希望ある未来社会の創造を推進する。
- 
地域社会との共創 地域に根ざした大学として、地域の未来を開拓、発展させていくための人材の育成、地域社会の様々な主体と連携・協働し、地域課題の解決を目指した研究を推進する。
- 
国際社会との共創 下関市の地理的特性や歴史的な遺産を基盤として、世界で活躍できるグローバル人材の育成、世界の研究機関との連携・協働等を通して世界に通用する研究を推進する。



学部構成



関わり方の紹介

下関市立大学は、世界的水準の研究を推進することを目指し、研究の活性化及び研究支援の充実・強化を図り、その成果を広く社会に還元することを目的とし、令和6年度に**下関市立大学研究機構**を設置しました。当機構において、国内外の研究機関等との連携の企画、提案及び調整や、研究プロジェクトの立案支援に向けた研究推進体制の検討などを業務とする**URA(University Research Administrator)室**を設置しています。本学との共同研究や受託研究など、本学研究者との連携等のご相談については、まずはURA室にお声がけください。

■下関市立大学URA室 E-mail: uraoffice@shimonoseki-cu.ac.jp

研究シーズの紹介

URAが中心となって本学の研究シーズ集を作成しています。下記URLからご確認いただけます。▼
<https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/kenkyukiko/seeds/>



国立研究開発法人 水産研究・教育機構

水産大学校

TEL:083-286-5111

E-mail:zenpan@fish-u.ac.jp

<https://www.fish-u.ac.jp/>

日本は暖流と寒流の交差する海に囲まれた世界有数の水産・海洋国家で、古来その豊穡さに潤されてきました。

これからも海を護りつつ持続的にその恩恵に浴し、水産資源を効率的かつ安全に活用することによって、国益を保って行く必要があります。

そのため水産大学校は、水産に関する学理と技術を学び研究させることにより、海の持続的利用と環境保全に配慮しながら水産業及びその関連分野で活躍できる人材を育成することを目的としています。



学科構成

● 水産流通経営学科

水産業の経営、流通、制度及び国内外の諸情勢に関する知識や情報処理技術に関する教育・研究

● 海洋生産管理学科

船舶運航及び水産資源の持続的・科学的生産の専門知識と技術に関する教育・研究

● 海洋機械工学科

船用機関・エネルギー機器、先端機械工学、環境負荷低減技術などに関する専門知識と技術に関する教育・研究

● 食品科学科

水産食品の衛生管理、物理性状、保健機能などに関する生理・生化学や低・未利用資源の高度利用技術に関する教育・研究

● 生物生産学科

水産動植物の生物機能、繁殖、生育環境などの専門知識とこれを資源の増養殖に活用する技術に関する教育・研究

関わり方の紹介

技術相談、受託研究・共同研究、学術指導

水産大学校の**教員研究情報・産学公連携**ページでは、本校職員が行っている研究情報を検索できる他、産学公連携による共同研究、受託研究、研究の成果を用いた技術指導など、様々な形で外部団体への協力を行うための情報を掲載しています。

このページでは、水産大学校が年4回発行している「**水産大学校研究報告**」および最近の主要研究成果をまとめた「**最近の研究成果から**」が閲覧できます。

また、水産大学校の**教員研究情報データベース**から、本校教員のプロフィールや研究内容などが検索できます。これらの情報を参考に、技術指導や学術指導についてご相談ください。

水産大学校では、外部機関からの受託研究や共同研究に関する申込みを受け付けております。まずは、研究を実施する教員との間で、契約内容等に関する事前調整を行ってください。研究を実施する教員が未定な場合や、その他一般的なご相談につきましては、以下窓口にご連絡ください。

■ **教員研究情報・産学公連携** <https://www.fish-u.ac.jp/ippan/sangakukou.html>

■ **水産大学校研究報告** <https://www.fish-u.ac.jp/public/kenhou.html>

■ **最近の研究成果から** <https://www.fish-u.ac.jp/public/syuyoukenkyu.html>

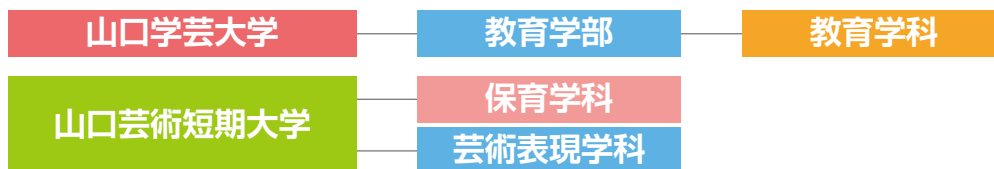
【相談窓口】 水産大学校校務部業務推進課業務推進係 TEL:083-264-2033

山口芸術短期大学は昭和43年に開学し、山口学芸大学は平成19年に山口芸術短期大学を基盤に開学しました。

本学は芸術を基盤とする教育を通して、教育者、保育者を養成するとともに、地域社会で活躍できる人材の育成を目指しています。



学部構成



教育・保育支援センターの取り組み

教育者・保育者のサポートセンターとして、山口県内外の小学校・特別支援学校・幼稚園の教諭、保育所等の保育士、及び地域の子育てに関わる方々の支援の場として御活用いただくための機関です。少子高齢化の進行、家族や地域社会の変化に伴い、現代の子どもたちは、不登校・いじめ・暴力非行・発達障害・虐待などさまざまな生活課題を抱えるようになってきました。それに伴い、教育・保育現場の先生方にはその対応方法についての悩みや不安が広がっています。

そうした社会のニーズに応えるために、地域の子育てに関わる皆様方の支援の場として、小・中・高等学校・特別支援学校、幼稚園・保育所の先生方をおもな対象として次の3つの事業を展開しています。本センターが地域に根ざす大学の社会的役割の一つとして、また、教育・保育関係者の有用な機関として、お役に立てることを心から願っております。

【事業1 講習・研修】

- ① 教育・心理系
- ② 保育・福祉系
- ③ 音楽教育・音楽表現系
- ④ 造形教育・造形表現系
- ⑤ 特別支援教育系
- ⑥ 外国語活動・英語教育系

【事業2 相談援助】

こんな時は、当センターまでご相談ください。
教育学・保育学・心理学など、専任教員が対応いたします。

- 乳幼児の保育
- 不登校
- 騒がしい学級
- いじめ
- 集団生活
- 障がい児への指導
- 家族／地域連携



【事業3 支援講座の開催】

センター主催企画として、毎年8月に、現職の教育者・保育者を対象とした「夏期講座」(半日)を実施しています。



TEL:083-972-2880

E-mail:shien@y-gakugei.ac.jp

<https://www.y-gakugei.ac.jp/>

<https://www.yamaguchi-jca.ac.jp/>

事例1

子どもたちの未来を創ろう「夏期講座」 ～保育者・教育者向け～

教育・保育支援センターは、教育者・保育者のサポートセンターとして、教育・保育現場のニーズに対応しながら、実践力の向上を図るための夏期講座を毎年8月の午後半日を使い、本学のキャンパス内で実施しています。例年「音楽」「造形」「ICT」「障がい児保育」「体育」などの講座を開講しています。参加者は幼稚園教諭、保育士、総合支援学校教諭、小学校教諭などが中心です。参加者のアンケートからは、「参加動機」として「希望講座があったから」が圧倒的に多数であり、参加者のニーズに沿う内容になっているととらえています。この夏期講座は、本大学による重要な地域貢献の一環に位置付けておりますので、保育者・教育者のニーズを適切に把握しながら、参加者の増加も目指して取り組んでいます。



教育学部 教授
松田 信夫



事例2

地域のパートナーとの連携・協働 「地域課題解決演習(PBL)Ⅰ・Ⅱ」

本学の教育学部教育学科では、地域社会の活性化に貢献することを目的とした地域課題解決演習に、山口市にある名田島地区を連携パートナーとして、正課教育の中で取り組んでいます。名田島地区は少子高齢化が進む中で「関係人口」を創出することを目指しており、本学の学生も「関係人口」となって関わる機会を頂いています。これまで、名田島地区のPR活動(動画作成等)や地域で開催されるイベントへの出店等の活動に取り組んできました。毎年夏には地区の夏祭りにお化け屋敷を出店しています。SNSで広報をしながら、地域の方々楽しんでもらうこと、そして名田島地区の交流人口を増やすことを目標に地域貢献活動を行っています。学生たちはお化け屋敷を作る中で、多くのことを経験し、学びを深めています。企画運営やICTを使った制作活動を通して実践的な学びを得るだけでなく、地域の実行委員会への参加や当日の地域の方々とのふれあいを通して、地域の方々との関わり合いの重要性を学ぶことができ、保育者・教育者を目指す学生にとって、得難い経験となっています。



教育学部 特命教授
高下 正明



教育・保育支援センターの紹介

山口学芸大学 ▶ <https://www.y-gakugei.ac.jp/collaboration/support/>

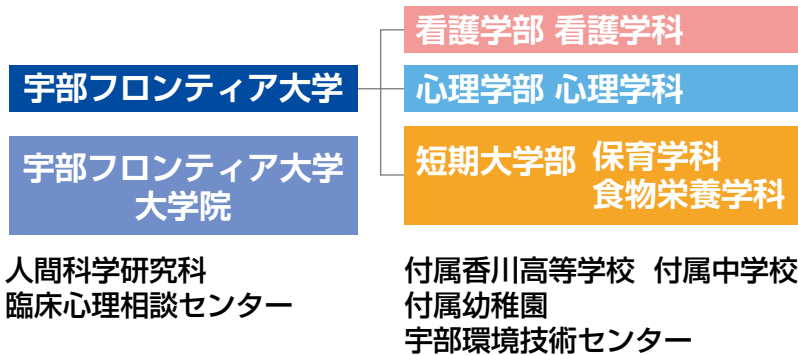
山口芸術短期大学 ▶ <https://www.yamaguchi-jca.ac.jp/collaboration/support/>

Frontier 宇部フロンティア大学

宇部フロンティア大学短期大学部

本学は、大学、短期大学部、大学院それぞれが特色ある教育を展開しています。学生一人ひとりの可能性を尊重し、社会で活躍できる人材の育成、地域への人材供給を含む地域貢献に取り組んでいます。

学部構成



事例 1

未来おはぎの考案と商品開発 —かまたの恵との連携—

宇部市のおはぎ専門店「かまたの恵」では、地元の上宇部鎌田産のもち玄米を使用したおはぎを看板メニューとしています。

食物栄養学科では、かまたの恵と連携し、今までにない新しいおはぎ「未来おはぎ」の開発をおこなっており、今年で4年目となります。本学の学生の意見を基に、1年で1品、新作おはぎを考案してきました。これまで「女王～ピスタチオ～」 「かぼ茶」 「甘酒豆打」を商品として販売しました。

今後も地域とのつながりを大切にしながら、次世代に受け継がれる新しいおはぎを考案していきます。



食物栄養学科



事例2 臨床心理相談センター

宇部フロンティア大学大学院附属臨床心理相談センターは、宇部市民・山口県民の皆様の様々な心の問題や悩み事(育児や教育上の問題、心と身体の不調・病気、介護に関する問題、家族・夫婦の問題など)の解決のお手伝いをさせていただきます相談機関です。

個別相談のほか、センターが実施しているフリースペースや自助グループ、学校教職員や公務員、会社員対象のメンタルヘルス事業にも取り組んでおります。

当センターは、公認心理師、臨床心理士の有資格者によって運営しています。

皆様からのご相談内容につきましては、プライバシーの保護を厳守いたしますのでご安心ください。



大学院 人間科学研究科

「発達と育児の問題」

子供の発育が正常か気になる。子供に知的障害がないか気になる。育児に自信がない。子供を虐待しそうだ。虐待している。夫が子育てに非協力的。

「学校での問題」

登園・登校しがららない。学業不振。非行の問題。(万引き、いじめ、暴力、喫煙や飲酒など)人前であがったり、極度に緊張しやすい。いじめを受けている。元気がない。無気力や引きこもり。

「職場での問題」

職場の人間関係でストレスを感じている。仕事への意欲をなくしている。休みの日もくつろげず、落ち着かない。職場でのストレスチェックテスト実施後の対応指導。

関わり方の紹介

技術相談

各教員の専門領域に即した相談を承ります。
詳細は大学までメールまたはお電話でお問い合わせください。

受託研究・共同研究

大学および短期大学部の各学科で承ります。
詳細は大学までメールまたはお電話でお問い合わせください。

学術指導

各教員の専門領域に応じた指導が可能です。
詳細は大学までメールまたはお電話でお問い合わせください。

研究シーズの紹介

大学▶<https://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-teacher-all/>

短期大学部▶<https://www.ube-c.ac.jp/page-guide/staff>

至誠館大学は「至誠」のこころをもって、多様な現代社会の中で各々が生きがいを感じ、自己実現ができ、また福祉の向上や社会が抱える多くの課題の解決に貢献できる人材の育成を基本理念として掲げ、現代社会の多様性への理解を深めつつ、多くの諸課題に意欲的に対応できる人間形成に努めております。



学部構成

本学は、「現代社会学部 現代社会学科」の1学部1学科で構成される大学で、萩本校キャンパスと東京キャンパスの2拠点により教育を展開しています。令和7(2025)年4月より専攻名およびそれぞれの専攻に設置されるコース名を改称しました。各専攻には、学生が免許・資格取得を目指す上で必要かつ専門性を有した教員が計34名所属しており、それぞれの専門に基づく研究活動にも尽力しています。



関わり方の紹介

技術相談

- 地域の健康づくり・生きがい創造・子育て支援の場の提供に関すること等
- 地域のスポーツ・文化・芸術・子ども福祉の振興に関すること等

学術指導

- 地域の健康づくり、保育・幼児教育に関わる研修会事業
- 地域と連携し、出前講義や研修会等の講師派遣

受託研究・共同研究

- 行政機関や地元産業界等との連携による地域課題の解決を目的とした調査研究
- 行政機関や地元産業界等、また地域住民との連携によるスポーツ健康福祉を目的とした調査研究
- 地域の福祉施設・事業との連携による調査研究
- 地域の保育・幼児教育に関わる共同研究



【問い合わせ先】

フリーダイヤル:0120-762-944 TEL:0838-24-4000(代) FAX:0838-24-4090
お問い合わせメールフォーム▶<https://www.shiseikan.ac.jp/contact>

事例1 至誠館大学萩文化スポーツセンター

至誠館大学は地域にある大学として、地域の方々に開かれた大学となるべく、至誠館大学萩文化スポーツセンターを設置し、文化・スポーツ・地域貢献活動の充実発展に寄与することを目的としています。当センターの一部門には、地域子ども福祉研究所があり、子育て交流の場(フクロウのす)としても協力しています。

至誠館大学萩文化スポーツセンターは以下の4点を掲げて活動しています。

- ① 地域のスポーツ・文化・芸術・子ども福祉の調査研究に関すること
- ② 地域のスポーツ・文化・芸術・子ども福祉の振興に関すること
- ③ 地域の健康づくり・生きがい創造・子育て支援の場の提供に関すること
- ④ その他センターに関すること



部活動の地域移行実証事業



地域子ども福祉研究所公開講座

至誠館大学 子育て広場
フクロウのす

日ごろの親子のコミュニケーションで気になることはありませんか、「フクロウのす」では親子の交流を支援します

【日時】2026年6月15日より

【内容】こどもの交流を助けたい、要望があれば、一緒に、子どもの得意の発達やこころの発達を促す親子のコミュニケーションについて一緒に考え、実践する機会を設けます。

【費用】至誠館大学4号館 プレイルーム
至誠館大学キャンパスマップ

無料

事例2 吉田松陰研究所 「至誠にして動かざる者は未だこれあらざるなり」

吉田松陰研究所は、本学の附属機関であり、明治維新の原動力となった多くの人材を育てた教育者である吉田松陰に関する調査・研究を行い、その成果を提供することにより、地域の発展に寄与することを目的としています。

吉田松陰研究所の業務は以下の4点であり、研究紀要は令和元(2019)年より毎年発行しています。

- ① 調査・研究及び出版に関すること
- ② 各種資料の収集・保管に関すること
- ③ 講演会・展示会の開催に関すること
- ④ その他研究所に関すること

令和元(2019)年度より、本学学生対象の集中講義「日本近代黎明史」を、一般市民も聴講できる「公開授業」として実施しています。



至誠館大学公開授業
(集中講義公開) 受講料無料

日本近代黎明史Ⅰ(前期)受講生募集

8/20(水)

講義: 野村 興兒 (至誠館大学) 幕末の欧米列強の対日政策

講義: 三宅 紹宣 (至誠館大学) 幕長戦争(四境戦争)の背景と展開過程

研究シーズの紹介

至誠館大学では、山口県内を中心に、本学教員による『出前講義』を行っています。本講義は、高校生を中心に、一般の方、子育て中の方、福祉の現場の方、小・中・高校の先生方など、幅広く興味を持っていただける内容としております。▶ <https://www.shiseikan.ac.jp/event/trip-lecture/trip-lecture-normal>



独立行政法人国立高等専門学校機構

宇部工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Ube College

学科構成

宇部工業高等専門学校は、第1期国立工業高専・全国12校のひとつとして、1962(昭和37)年4月1日に機械工学科、電気工学科の2学科3学級で創設されました。

その後、科学・技術の進歩や高度情報化社会への進展、産業構造の変化など時代の要請に応えるため、学科の整備・拡充、専攻科の設置等を進めてきました。

現在は、5年制の本科5学科、2年制の専攻科3専攻で運営しています。



本科

機械工学科

工業製品の研究開発、設計、生産技術などに係わる実践的技術者を育成

電気工学科

データサイエンス・AIを活用できる電力・エネルギー・計測・制御、半導体の分野の実践的電機システム技術者を育成

制御情報工学科

データ分析や機械学習の技術を駆使し、ロボットなどの制御システムを構築できる実践的情報通信技術者を育成

物質工学科

情報技術を利用化した化学工業または生物工業における開発、生産などに係わる実践的技術者を育成

経営情報学科

経済社会と情報技術の発展に対応し得る実践的知識と技術を有する「経営」と「情報」の融合人材を育成

専攻科

生産システム工学専攻

先端工学技術の発展に対応し得る知識を持った独創的で解析力に優れた技術者の育成

物質工学専攻

物質変換およびエネルギー変換技術の発展に対応し得る高度な知識と技術を有する技術者の育成

経営情報工学専攻

経済社会と情報技術の発展に対応し得る高度な知識と技術を有するビジネスパーソンの育成



関わり方の紹介

技術相談

「もし、こんなモノが出来たら…」 「測定機器を使いたい」などでお考えの企業の方をご相談下さい。専門スタッフがご相談を受け、適任者をご紹介します。高専の専門分野である、機械・電気などはもちろん、経営についてもまずはお相談ください。専門スタッフがコーディネートして、適任者をご紹介します。

<https://www.ube-k.ac.jp/research/consultations-2/>

共同研究

企業の取り組みテーマや直面している課題について、企業からの研究員(受け入れ可能、ただし研究員費として1人につき1年42万円が必要。企業において研究される場合は研究員費は不要)とともに本学教員等が共同で研究を行っていきます。いわば、企業と本学が共同で新製品や新技術の開発を行う制度です。費用は負担していただきます。

<https://www.ube-k.ac.jp/research/cooperative/>

受託研究

企業の取り組みテーマや直面している課題について、教員が専門知識やノウハウ及び高度先端設備機器を活用し、課題に取り組み問題解決にあたります。いわば、企業の研究開発をバックアップする制度です。共同研究との相違点は、企業からの全面受託です。費用は負担していただきます。

<https://www.ube-k.ac.jp/research/funded/>

機器利用

研究設備・機器を予約制で使用できます。使用可能な機器については、宇部高専HPからご確認ください。

<https://www.ube-k.ac.jp/research/useequipments/>

地域課題解決型PBL

宇部高専では、2017年度よりエンジニアリングデザイン能力の醸成、課題発見能力育成および多様なイノベーション創出を目的としたアクティブラーニング型授業として地域課題解決型PBL「地域教育」を開講しています。課題を与える(選択する)のではなく、自らが課題を発見するところから取り組み、実践活動することで、今、社会が求めている「待ちではなく、自ら考え、提案、行動できる人材」を育成しています。

研究シーズの紹介

宇部高専HPからご確認ください。▶ <https://www.ube-k.ac.jp/research/seeds-movie/>

【問い合わせ先】

宇部工業高等専門学校 総務課 連携係

TEL:0836-35-4966 E-mail:sangaku@ube-k.ac.jp

URL:<https://www.ube-k.ac.jp/>



徳山高専

National Institute of Technology,
Tokuyama College

総務課地域連携推進係

TEL:0834-29-6399

E-mail:tiren@tokuyama.ac.jp

https://www.tokuyama.ac.jp/

学科構成と修得技術

[Click▶](#) 学科・専攻科紹介

機械電気工学科/ 機械制御工学専攻

データ・情報・通信技術を活用し、持続可能な社会を実現する機械システムを設計・製作／構築する技術

情報電子学科/ 情報電子工学専攻

コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術／コンピュータを核とする多様なシステムを設計・開発する技術

土木建築学科/ 環境建設工学専攻

情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・施工／開発する技術



地域支援シーズ

[Click▶](#) 地域支援シーズ集

各教員の研究内容や専門分野等を、地域ニーズへの対応や貢献活動を目的にシーズ集として公開しております。

関わり方の紹介

共同研究・受託研究

企業間で研究者が共通のテーマについて議論し、テーマを決めて共同研究を進めることにより、独創的な優れた研究成果や商品化、知的財産の創出を推進します。また、課題等委託を受けて（経費は委託者負担）研究を推進するなど、産学官金の幅広い要請に対処しています。

[Click▶](#) 共同研究・受託研究の申し込み

研究支援・技術相談

企業等における技術的な問題を解決するため、本校の有する研究成果や技術的知識を広く活用する一時的な相談窓口です。

申込者に対する技術的問題解決に向けての支援及び相互の研究開発等の活性化を図るための技術指導・助言や情報交換を行っております。

[Click▶](#) 研究支援・技術相談の申し込み

出前講座・リカレント教育

山口県東部地区を中心とした山口県全域対象の地域住民や企業に対し子供から大人の方まで、幅広い世代の方に提供できる魅力的な講座やイベントをプラットフォーム形式で提供しています。【出前授業・公開講座プラットフォーム】地域住民の生活・文化レベルの向上や県内企業を中心とした経済活動の活性化に貢献することを目的として構築しており、地域住民・教育機関・産業間の連携と好循環化を目指しております。

[Click▶](#) 出前授業・公開講座プラットフォームについて



学科構成

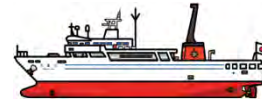
商船学科

電子機械工学科

情報工学科

技術シーズ

Click▶シーズ集



技術分野／研究分野 ※は重複しています。

電気・電子	※各地域の特徴とニーズに合わせた海洋環境計測と現象分析の実施（日本海編）
	※各地域の特徴とニーズに合わせた海洋環境計測と現象分析の実施（瀬戸内編）
	※障害者・高齢者のための福祉支援システム
	※電力の安定供給における絶縁材料の劣化診断と再生可能エネルギーの活用に関する研究
	※プラズマ溶射装置およびその計測機器の研究
	※大気圧プラズマの応用した塗装剥離
	※ ECR イオン源を用いた多価イオンの生成，および生成効率の向上
	※小規模独立型太陽光発電の基礎研究
機械・メカトロ	※島嶼用自立型エネルギー供給システム
	マイクロ流体デバイスの応用研究
	※見えないものを視る！
	※壁面に斜衝突する部材の変形特性評価
	※表面テクスチャリングを用いた往復動しゅう動面の低摩擦化
	※船舶用機関の環境負荷低減に関する研究
	※障害者・高齢者のための福祉支援システム
	※極低温冷凍機の性能向上に関する研究
	※簡単な機械システムの構築と「ものづくり教育」
※面型パターン照明を用いた外観検査技術	
物質・材料	※壁面に斜衝突する部材の変形特性評価
	※極低温冷凍機の性能向上に関する研究
	※プラズマ溶射装置およびその計測機器の研究
	※ ECR イオン源を用いた多価イオンの生成，および生成効率の向上
	※簡単な機械システムの構築と「ものづくり教育」



技術分野／研究分野 ※は重複しています。	
IT・情報	※障害者・高齢者のための福祉支援システム
	木簡に特化した特徴抽出を利用した木簡削り屑の類似画像検索システムの開発
	※面型パターン照明を用いた外観検査技術
	デジタルオーディオワークステーションを用いた伝統唱歌のコンピュータ音楽制作
	深層学習の認識率向上に関わる基礎研究
	色付きオートマトンの理論的研究とその応用
	医用画像を利用した診断支援への応用
	ヒトのワーキングメモリ性能と概日リズムの関連性
環境・バイオ・エネルギー	※各地域の特徴とニーズに合わせた海洋環境計測と現象分析の実施（日本海編）
	※各地域の特徴とニーズに合わせた海洋環境計測と現象分析の実施（瀬戸内編）
	潮流発電用ダリウス形水車起動アシスト実験
	※島嶼用自立型エネルギー供給システム
	※見えないものを視る！
	※表面テクスチャリングを用いた往復動しゅう動面の低摩擦化
	※船舶用機関の環境負荷低減に関する研究
	※極低温冷凍機の性能向上に関する研究
	※電力の安定供給における絶縁材料の劣化診断と再生可能エネルギーの活用に関する研究
	※大気圧プラズマの応用した塗装剥離
	※ ECR イオン源を用いた多価イオンの生成、および生成効率の向上
	※小規模独立型太陽光発電の基礎研究
※簡単な機械システムの構築と「ものづくり教育」	
食品廃棄物を利用したアスタキサンチンの微生物合成に関する研究	
運輸・流通・ビジネス	メタヒューリスティック解法を用いた配送計画・輸送計画の立案方法
船舶・海事	※各地域の特徴とニーズに合わせた海洋環境計測と現象分析の実施（日本海編）
	若手航海士のための避航行動指標の開発
	船体や水中付加物等の流体力の計測・解析
	海事教育における補助教材の開発等
	風向風速計による定点観測値の有効活用～洋上観測の実装に向けて
	※各地域の特徴とニーズに合わせた海洋環境計測と現象分析の実施（瀬戸内編）
人文・社会	行政機関と市民・企業の協働
	英語軽動詞構文の記述的研究
	大正期における日本〈文学〉の生成
	長州藩の学問・教育思想と文学

技術分野／研究分野 ※は重複しています。	
人文・社会	近代日本の「迷惑をかけたくない」意識の形成過程の解明
	語義の展開を生かした海事英語辞書の製作の試み
	英語教育におけるマイクロアグレッションの問題化
理学	深海を伝わる波の観測研究
	※プラズマ溶射装置およびその計測機器の研究
	※ ECR イオン源を用いた多価イオンの生成、および生成効率の向上
	※小規模独立型太陽光発電の基礎研究
	物質強度を考慮した微惑星の衝突破壊
	VLBI および ALMA 等の電波干渉計を用いた大質量原始星の星周構造に関する観測的研究
	無理数回転の挙動について
	軽いクォークで構成されたハドロンの構造
	現象数理モデルの解析
	Smooth 表現の圏と導来 Hecke 代数について
リーマンゼータ関数と指数型不定方程式の研究	
その他	※障害者・高齢者のための福祉支援システム
	水上オートバイを活用した水辺の安全教育
	ブータンにおける保健体育科教育に関する研究

関わり方の紹介

Click▶ 共同研究・受託研究・技術相談の申し込み

共同研究

本校の教員と企業などの研究者とが、共通の研究課題について共同研究を進めることにより、優れた研究成果を期待できます。企業などの研究者は、在職のまま、本校または企業などにおいて共同研究を行います。

技術相談

本校には、商船学、機械工学、電気・電子工学、制御工学、情報工学、計算機工学、自然科学(数学、物理、気象学、化学、体育)など広い分野にわたって、多数の研究者が在職しており、企業の現場などで解決を迫られている難問や疑問などの技術相談を受け付け、地域社会の発展に協力しています。

受託研究

企業などからの委託を受け、企業などに代わって本校の教員が研究を行い、その成果を委託者に報告します。なお、この研究に要する経費は、委託者(企業など)に負担していただきます。

お気軽に
ご相談ください

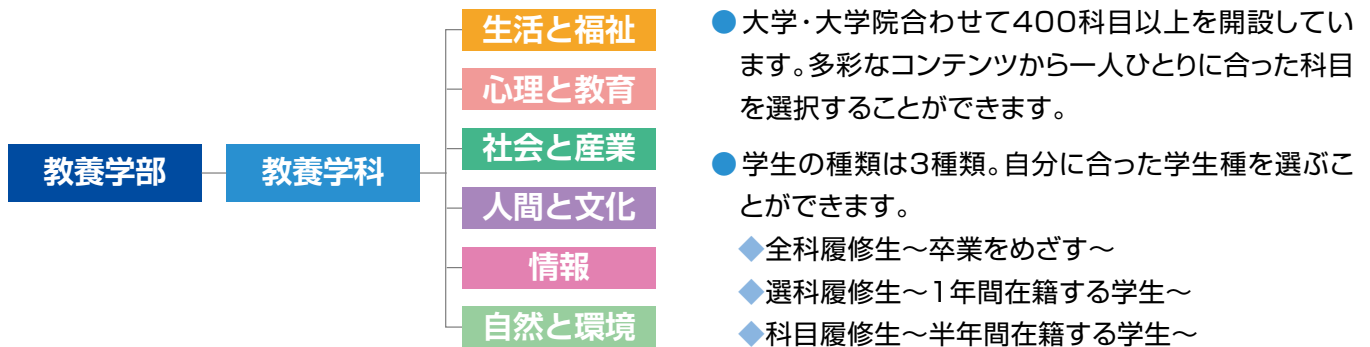


- 放送大学は文部科学省・総務省所管の通信制大学です。
- 大学卒業(学位取得)、生涯学習、リカレント教育、リスキングのためなど、様々な目的で学べます。
- 時間や場所を問わずに学べるしくみで、様々な年代や職業の方が意欲的に学習しています。
- 全国57カ所キャンパスを設置しています。

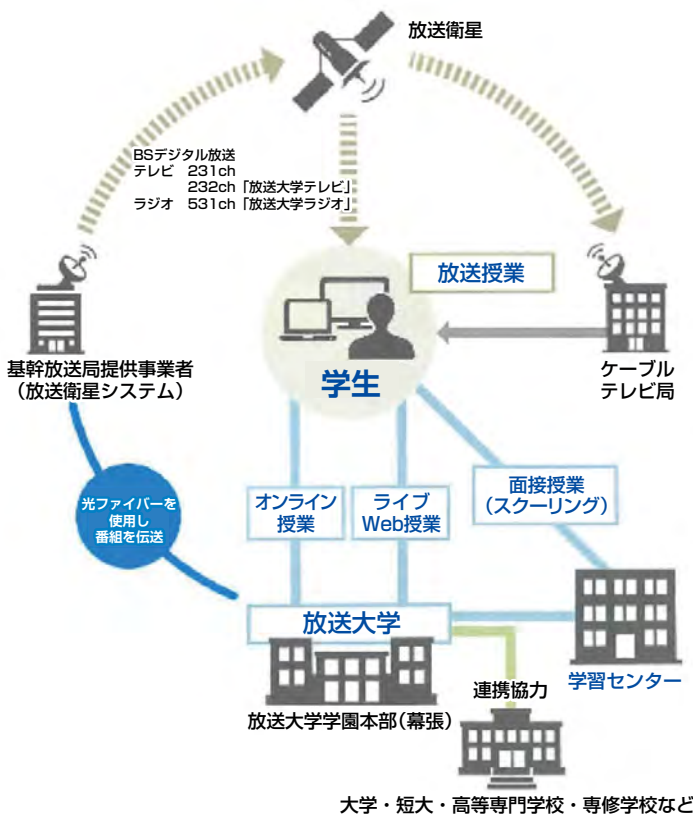
学部構成

放送大学は豊かな教養を培うとともに、実生活に即した専門的な学習を深められるよう、幅広い学問分野からなる教養学部を設けています。

教養学部教養学科の下に6つのコースを用意しています。また大学院修士・博士後期課程も設けています。



放送大学の教育システム



- **放送授業**
テキストとテレビ・ラジオの視聴で学習を進めます。またインターネットでいつでも視聴可能です。
- **面接授業 (スクーリング)**
全国の学習センターなどで教員から直接指導を受けられる授業です。
- **オンライン授業**
すべての学習をインターネット上で行うオンライン完結型の授業です。好きな時間に繰り返し視聴できます。
- **ライブWeb授業**
自宅等でWeb会議システム(Zoom)を利用し、パソコンを用いてリアルタイムに受講します。
- **公開講演会**
放送大学では、放送大学講師陣による、無料で、どなたでも受講できる、多彩なテーマの公開講演会を全国で開催しています。講演会には、会場参加型の「公開講演会」と、全国どこからでも参加できる「オンライン講演会」の2つのタイプがあります。





リスキング・リカレント教育の紹介

科目群履修認証制度「放送大学エキスパート」

■専門分野を体系的に学べる、さまざまなプラン

放送大学 エキスパートとは

2006年から放送大学が実施している学習プログラム(履修証明プログラム)で、学校教育法105条「履修証明制度」に対応しています。また、このプランの授業科目は放送大学の授業を組み合わせたものです。放送大学の卒業単位としても認定されます。

特定の授業科目群に沿って学習し、専門分野を体系的に学べます

データサイエンスリテラシープランや地域貢献リーダー人材育成プランなど、全17種の幅広いプランから選択可能

終了後申請することにより、「履修証明制度」に基づいた認証状、証明書が交付されます

「放送大学エキスパート」 入学から認証状取得まで

- 1 全科・選科・科目履修生いずれかで入学します。
- 2 目的のプランに必要な科目を科目登録手続きにより登録、履修します。
- 3 必要な単位を修得し、一定の条件を満たした上で、認証書を申請します。



健康・福祉

- ・健康福祉指導プラン
- ・福祉コーディネータプラン

市民・社会

- ・地域貢献リーダー人材育成プラン
- ・学校地域連携コーディネータプラン
- ・社会生活企画プラン

心理

- ・心理学基礎プラン
- ・臨床心理学基礎プラン

工学・技術

- ・工学基礎プラン

科学・数学

- ・宇宙・地球科学プラン
- ・環境科学プラン
- ・データサイエンスアドバンスプラン
- ・データサイエンスリテラシープラン

国際・文化

- ・異文化コミュニケーションプラン
- ・日本文化を伝える国際ボランティア・ガイド(基礎力)養成プラン

芸術・博物館

- ・芸術系博物館プラン
- ・歴史系博物館プラン
- ・自然系博物館プラン

詳細については
こちらを
ご覧ください



職員研修
向け

インターネット配信公開講座

数理
データサイエンス
AI講座

■いつでもどこでも誰でも学べる、オンデマンドの公開講座

放送大学のインターネット配信公開講座「数理・データサイエンス・AI講座」は、デジタル社会に必要なデータサイエンスとAIの知識・技術を、オンラインでいつでも学べる講座です。

職員研修向けeラーニング教材としても団体受講が可能です。また、この講座は放送大学の授業ではなく研修用の講座です。放送大学の授業として希望の方は大学に入学の上、上記のエキスパートプランをご活用ください。

社員研修に最適な
オンライン講座

無料講座・
有料講座があります

「リテラシーレベル」から「応用基礎レベル」
「発展・専門レベル」まで体系的に学べます

有料講座修了者には
修了証とデジタルバッジが
発行されます

団体受講
割引有

講座例

▶リテラシーレベル

「データサイエンス基礎から応用」
「デジタル社会のデータリテラシー」

▶応用基礎レベル

「データサイエンス基礎」「AI基礎」

▶無料講座

「Rで学ぶデータサイエンス-入門-」
「データサイエンス革命」

詳細については
データサイエンス
特設webサイトを
ご覧ください





もっと知りたい方へ



山口県の各大学等のシーズ集のアドレスをご紹介します。
是非、一度ご覧ください。

大学等名	シーズ集アドレス
国立大学法人山口大学	https://researcher.yamaguchi-u.ac.jp/
人文学部	https://www.hmt.yamaguchi-u.ac.jp/teacher/
教育学部	https://www.yamaguchi-u.ac.jp/edu/profs/index.html
経済学部	https://www.yamaguchi-u.ac.jp/econo/faculty/
理学部	https://www.yamaguchi-u.ac.jp/sci/sci/stafflist/
医学部医学科	http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/medicine/chair/
医学部保健学科	https://www.yamaguchi-u.ac.jp/med/health_sciences/chair/index.html
工学部	https://www.d-pam.com/yamaguchi-u/2413967/index.html?tm=1#target/page_no=1
情報学部	https://www.yamaguchi-u.ac.jp/eng/csse/
農学部	https://www.yamaguchi-u.ac.jp/agr/teachers/index.html
共同獣医学部	https://www.yamaguchi-u.ac.jp/vet/staff/index.html
国際総合科学部	https://www.yamaguchi-u.ac.jp/gss/staff/index.html
ひと・まち未来共創学環	https://www.yamaguchi-u.ac.jp/cci/teacher/index.html
創成科学研究科（理・工・農）	https://www.yamaguchi-u.ac.jp/gsti/index.html
技術経営研究科（MOT）	https://mot.yamaguchi-u.ac.jp/member.html
グリーン社会推進研究会	https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~yu_green/
国立大学法人山口大学 （有限会社山口ティール・エル・オー）	http://www.tlo.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/seeds/

大学等名	シーズ集アドレス
山口県立大学	https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/ca/qu/theme/
周南公立大学	https://www.shunan-u.ac.jp/seeds/
山陽小野田市立 山口東京理科大学	https://www.socu.ac.jp/summary/pamphlet.html
下関市立大学	https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/kenkyukiko/seeds/
水産大学校	https://www.fish-u.ac.jp/public/syuyoukenkyu.html
山口学芸大学・ 山口芸術短期大学	https://www.y-gakugei.ac.jp/collaboration/support/ https://www.yamaguchi-jca.ac.jp/collaboration/support/
宇部フロンティア大学・ 宇部フロンティア大学短期大学部	https://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-teacher-all/ https://www.ube-c.ac.jp/page-guide/staff
至誠館大学	https://www.shiseikan.ac.jp/event/trip-lecture/trip-lecture-normal
宇部工業高等専門学校	https://www.ube-k.ac.jp/research/seeds-movie/
技術相談	https://www.ube-k.ac.jp/research/consultations-2/
共同研究	https://www.ube-k.ac.jp/research/cooperative/
受託研究	https://www.ube-k.ac.jp/research/funded/
機器利用	https://www.ube-k.ac.jp/research/useequipments/
徳山工業高等専門学校	https://www.tokuyama.ac.jp/index.html
地域支援シーズ	https://nit-tokuyama.jp/seeds_list/
共同研究・受託研究	https://www.tokuyama.ac.jp/chiikirenkei/kyodo.html
研究支援・技術相談	https://www.tokuyama.ac.jp/chiikirenkei/shien.html
地域生涯学習プラットフォーム	https://www.tokuyama.ac.jp/chiikirenkei/shogaigakushu.html
大島商船高等専門学校	https://www.oshima-k.ac.jp/information/seeds/
放送大学	https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamaguchi/index.html



大学リーグやまぐち 地域貢献センター

山口県立大学 地域共生センター内

TEL
083-929-6611

E-mail
chiikikc@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp